

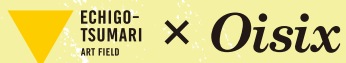
Oisix × 大地の芸術祭 コラボ企画

ルイボスティーで リラックスぬりえ

*Relax with
rooibos tea*

ゾウとチーターが、ルイボスティーを
飲んでゆっくりしているみたい。

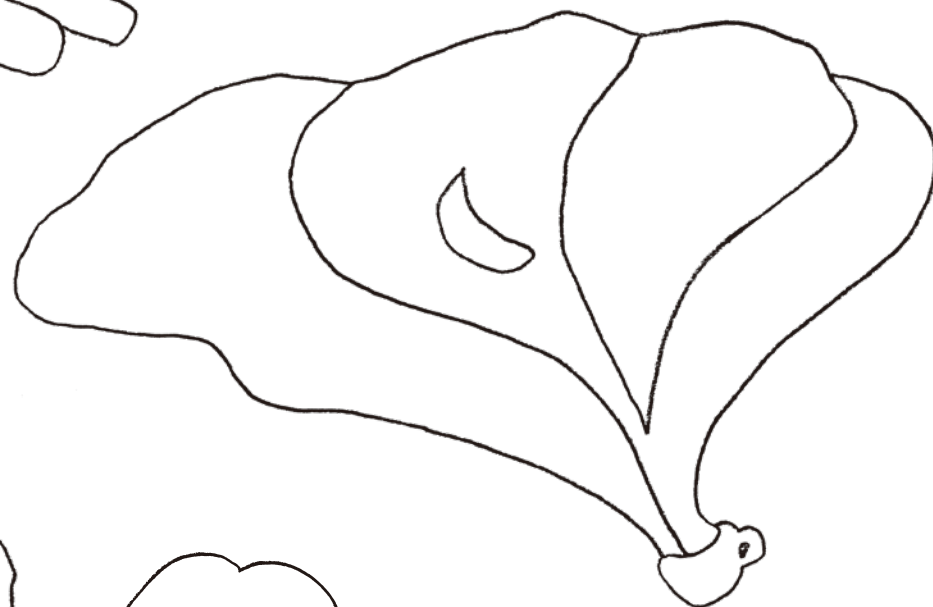
いろ
色えんぴつやクレヨンで
す いろ
好きな色にぬってみよう。



Oisixは「大地の芸術祭」とのコラボレーション
を通して、地方の過疎高齢化の課題に
取り組んでいます。



ぼくは
よる
夜のチーター



ぼくは
もり
森のゾウ



かん せい
完成したぬりえを
とう こう
投稿して
あ
「おやつ」を当てよう!



ぬりえの
てほん
お手本は
こちら!

<作品>
ティーとゾウ



<作品>
ティーとチーター



この作品を描いてくれたのは、

はら ゆう

原游さん

1976年東京生まれ。2001年東京藝術大学大学院美術学部美術科油画専攻修士課程修了。絵画の可能性を探求し、幾つかのシリーズを展開。



©須崎隆善

発酵：ティーとゾウ

南アフリカに生息する動物ということでゾウを選びました。グリーンは森のイメージです。自然から降り注がれたルイボスティーをとろけたような色感で描きました。



非発酵：ティーとチーター

南アフリカに生息する動物ということでチーターを選びました。私はいつも寝る前にルイボスティーを飲んでるので、眠りの印象があります。カップから流れるとろけるような夜の感覚にチーターが眠ってしまうところを描きました。ブルーは夜のイメージです。



ルイボスティーのパッケージが新しくなりました 発売以来人気のルイボスティーが、「大地の芸術祭」コラボパッケージに!

Oisixは、食事をつくる時も食べる時も、心ゆくかな時間を過ごしていただくには何が出来るかを考えています。

新しいルイボスティーのパッケージは、毎日のティータイムに、アートに触れて心がほころびひと時を過ごしてほしい。

そんな想いで「大地の芸術祭」とコラボレーションをしました。

忙しい朝を駆けぬける時、毎食後のひと息つく時、寝る前にちょっとゆっくりする時。

いつもの日常の中で、ルイボスティーを飲んでまったりしているような動物たちの絵に触れて、さらに笑顔になりますように。



南アフリカ育ちのノンカフェインティー

ルイボスティーは、世界で唯一南アフリカ共和国のセダーバーク山脈一帯でのみ栽培される、マメ科の植物の茶葉が原料。南アフリカ先住民の大切な栄養源として何世紀もの昔から飲み続けられています。

Oisixのルイボスティーは、全収穫量のわずか1%未満という有機栽培の茶葉を使用し、日本国内の「有機JAS認証工場」で製茶しました。トップグレードならではの芳醇な香り、コクのある風味とクリアな赤い色が特長です。茎をほとんど含まない細かい茶葉なので、クセが少なくやさしい味わい。ノンカフェインで低タンニン、保存料・着色料などの添加物は一切不使用なので、お子さまからご年配の方までご家族でお楽しみいただけます。

Oisixでは、発酵と非発酵の2タイプをご紹介します。商品の売上の一部が、「大地の芸術祭」の活動に使われます。



「大地の芸術祭」って?

世界最大級の国際芸術祭であり、日本中で開催されている地域芸術祭のパイオニア。アートを道しるべに里山を巡る新しい旅は、アートによる地域づくりの先進事例として、国内外から注目を集めています。

過疎高齢化の進む日本有数の豪雪地、新潟県の越後妻有地域(=大地の芸術祭の里)が舞台。農業を通して大地とかがわってきた「里山」の暮らしが今も豊かに残っている地域で、1年を通して自然の中に作品を展示します。トリエンナーレは2000年から3年に1度開催されており、2021年に8回目を予定。

Oisixは「大地の芸術祭」とのコラボレーションを通して、地方の過疎高齢化の課題に取り組んでいます。



「ルイボスティーに合うおやつ」を
ぬりえを投稿して当てよう!

応募〆切：2021年1月31日(日)

詳しくはこちら!

